

事業者名 山交バス株式会社

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	1	山形市役所(六角・荒砥)長井	山形市役所前	六角荒砥	道の駅川のみなと長井	【取組内容及び実施時期】 ①R3.10に長井駅・長井市役所新庁舎経由の経路変更実施予定。 ②①に伴い運賃の見直しを実施予定。 ③利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ④R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株・長井市・白鷹町・南陽市・上市市・山形市 【効果目標】 増収率1.5%増	①長井駅・長井市役所新庁舎を経由する経路変更を行った。(R3.10月) 利用拡大のためにホームページ・マスコミ・地元情報誌等を利用して告知・PRを行った。 ②上限を1,000円とする運賃改定を実施。利用者にとってわかりやすく、利用しやすい料金体系とした。 ③路線別時刻表を作成し主要ターミナル・管内のコミュニティセンター・バス車内に置いてPR告知を図った。 ④交通系ICカード導入。(R4.5月) 山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 収入前年比 109.8% 目標達成となった。	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	2,106,735	564,717	33.24%	36.19%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 山交バス株式会社

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	2	山交ビル(荒谷・石倉)天童	山交ビルバスターミナル	荒谷石倉	天童駅前	【取組内容及び実施時期】 ①路線見直しを検討するとともに乗降調査を継続的に に行い便数の適正化等による乗車効率の増加を目指す。 ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ③乗車率の低い天童市内の利用促進を図るためバス停留周辺の地区において利用促進PRを実施する。 ④R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株・山形市・天童市 【効果目標】 増収率1.8%増	①ダイヤについての見直し及び安全対策及び定時運行確保のための運行経路の見直しを含めた協議会を運行営業所と実施した。 ②山形・天童市内の公民館・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ③天童市と運転免許証返納者支援策を継続して実施。 ④交通系ICカード導入。(R4.5月) 山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 収入前年比 108.8% 目標達成となった。	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	2,906,525	▲ 533,984	52.72%	57.90%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	3	県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山	県立中央病院	表蔵王口 四谷	高松葉山 温泉	【取組内容及び実施時期】 ①山形市と上山市を結ぶ類似系統が多数存在するため、統合などにより効率的な運行を図る。 ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株・山形市・上山市 【効果目標】 増収率1.2%増	①ダイヤ改正で便数の整理を実施。(R4.1月)煩雑さを軽減し、運行の効率化を高めた。 ②スポーツセンター-県立中央病院のほか沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ③交通系ICカード導入。(R4.5月)山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 収入前年比 97.7% 目標未達となった。	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	▲ 451,681	▲ 5,237,523	59.82%	69.40%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	4	山形(若葉町・南山形)高松葉山	千歳公園 待合所	若葉町 南山形	高松葉山 温泉	【取組内容及び実施時期】 ①山形駅西口バス乗り場開設に伴う、経路変更の検討。 ②利用拡大のための住民説明会やICカード搭載時の乗り方教室を実施する。 ③利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ④R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株・山形市・上山市 【効果目標】 増収率1.0%増	①経路変更により山形駅東口から西口を経由するルートに変更し、山形駅東口の混雑対策を実施した。(R4.3月) ②ICサービスイン後を想定した乗り方教室を実施した。(R4.5月) ③沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ④交通系ICカード導入。(R4.5月)山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 収入前年比 104.6% 目標達成となった	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	2,090,620	477,612	64.23%	66.77%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	5	寒河江駅前(松川・左沢)宮宿	寒河江駅前	松川左沢	朝日町役場前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①R5年10月に向けて経路変更・ダイヤ改正予定。</p> <p>②沿線沿い学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。</p> <p>③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・寒河江市・大江町・朝日町</p> <p>【効果目標】 増収率2.0%増</p>	<p>①沿線市町村と運行経路及び運行ダイヤについて地元住民の利用拡大を目的とした意見交換を実施した。</p> <p>②沿線沿い学校へ時刻表等を配布しPRした。(R4.3)朝日町と通学定期補助制度を継続して実施。朝日町・大江町と高齢者外出支援制度を継続して実施。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 92.0% 目標未達成となった。</p>	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	▲ 827,329	▲ 244,599	36.58%	33.96%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	6	寒河江駅前～谷地	寒河江駅前		河北病院	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利便性アップのための運行経路の見直し。効率的な運行のための日祝の減便を検討。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・寒河江市・河北町</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増</p>	<p>①沿線市町村と協議のうえ、終点をひなの湯から河北病院へ延伸し利用拡大を図った。(R4.1月)運行営業所と協議会を実施し、利用者の少ない日祝の運行方針について意見交換を行った。</p> <p>②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表等を重点的に配布しPRした。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 93.0% 目標未達成となった。</p>	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	▲ 936,728	▲ 767,443	43.70%	41.70%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	7	山交ビル～寒河江駅前	山交ビル バスターミナル	中山	寒河江駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①効率的運行のための減便をする。</p> <p>②利便増進のための施策を検討。</p> <p>③利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>④R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・山形市・中山町・寒河江市</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増</p>	<p>①ダイヤ改正で便数の整理を実施し、乗車効率の向上を図った。(R4.1月)</p> <p>②運行営業所や沿線市町村と乗車率アップのために経路変更や運賃体系について意見交換を行った。</p> <p>③沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。</p> <p>④交通系ICカード導入。(R4.5月)</p> <p>山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 97.4% 目標未達成となった。</p>	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	▲ 968,228	▲ 6,304,900	43.76%	45.94%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	8	天童～寒河江	天童南駅	天童駅前	寒河江駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利用拡大のための乗り方教室を実施する。</p> <p>②利用者のニーズや意見を聞く機会を設ける。</p> <p>③ダイヤや便数について検討する。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・天童市・寒河江市</p> <p>【効果目標】 利用ニーズに応じた運行便数を維持している。</p>	<p>①天童市内の保育園でバスの乗り方教室を計画した。(R4.9月)</p> <p>②寒河江市内の高校生から取材という形の中で要望や意見の聞き取りも行った。(R4.1月)</p> <p>③冬季の運行における課題共有を行った。(R4.8月)</p> <p>【取組効果】 利用ニーズに応じた運行便数を維持している。</p>	【今後の方向性】 ①R4.10にバスの乗り方教室を実施予定。②③取り入れられる内容がないか精査する。	R4年度より 補助対象	R4年度より 補助対象	R4年度より 補助対象	33.91%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	9	天童 (東根市役所) 北町	天童駅前	東根市 役所前	北町	【取組内容及び実施時期】 ①沿線にある村山産業高校・村山特別支援学校のためのダイヤや便数について検討。 ②効率的な運行のための日祝の減便を検討。 ③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株・天童市・東根市・村山市 【効果目標】 増収率1.5%増	①村山市を通じて村山産業高等学校から要望があり、新たに冬期通学ための新規系統を新設した。(R5.1月運行開始) ②運行営業所と協議会を実施し、利用者の少ない日祝の運行についての利用状況を確認のうえ、今後の運行方針について意見交換を行った。 ③交通系ICカード導入。(R4.5月) 山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 収入前年比 106.1% 目標達成となった。	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	533,504	▲ 254,503	29.13%	31.20%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	10	山交ビル (県立中央病院 高層)天童温泉	山交ビル バスターミ ナル	県立中央 病院・高層	わくわく ランド	【取組内容及び実施時期】 ①運転免許センター・県立病院の特定ニーズのある路線(輸送量はぎりぎりの路線)のため、維持する方向で調整。現在の経路についての見直し。 ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 ③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株・山形市・天童市 【効果目標】 運行回数 3.0回維持 輸送量 乗車密度5.0人×3.0回=15.0人確保	①運行営業所と協議会を開き、時間帯毎の利用状況・属性の確認及び利用拡大、利便増進のための経路見直しについて意見交換を行った。 免許センター及び病院を結ぶ貴重な路線のため、重点的に見直しを行っている。 ②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。 ③交通系ICカード導入。(R4.5月) 山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 運行回数 3.0回維持 目標達成となった。 輸送量 7.8人 目標未達成となった。	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	505,159	▲ 96,678	39.90%	44.79%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	11	山交ビル(漆山) 天童温泉	山交ビル(漆山) バスターミナル	漆山 長岡	わくわくランド	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①ダイヤ、路線の見直しを行い乗車効率及び利用者の利便性を上げていく。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・山形市・天童市</p> <p>【効果目標】 増収率1.5%増</p>	<p>①利用者にわかりやすくするために漆山経由、長岡経由を1本にまとめた場合のシミュレーションを実施。(利用ニーズの高いオンデマンドを経由する便を増やす方向で検討中。)</p> <p>②沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施した。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)</p> <p>山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 109.9% 目標達成となった。</p>	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	4,042,676	▲ 809,376	43.00%	47.71%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社・宮城交通株式会社
------	-------------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	12	高速 上山～仙台	高松葉山 温泉		県庁 市役所前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①R3.10月に経路変更予定。</p> <p>②利用促進のための施策を検討。</p> <p>③東北芸術工科大学と連携してさらなる利用拡大・利便増進を図る。</p> <p>④山交バスにてR4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・宮城交通株</p> <p>【効果目標】 2社合算での増収</p>	<p>①山形大学医学部重粒子センターより依頼を受けて大学病院前バス停を経由する経路変更を実施した。(R3.10月)</p> <p>利用拡大のためにホームページ・マスコミ等を利用して告知・PRを行った。</p> <p>②仙台圏のお客様の取り込みを目的とした新たなバック商品ができないか検討している。</p> <p>③当路線のメインユーザーである東北芸術工科大学の要望に沿ったダイヤ改正(R4.3月)を行い、利用拡大につながった。また新たに大学内の売店で回数券の販売を開始した。</p> <p>④山交バスにて交通系ICカード導入。(R4.5月) 山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 コロナ禍における県外移動自粛も緩やかになった事と相まり、増収となった。</p>	【今後の方向性】 企画乗車券などの新商品の開発に向けて取り組む。	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	38.37%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社・ジェイアールバス東北株式会社
------	-------------------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	13	高速米沢～仙台	米沢市役所前		仙台駅東口	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①乗降調査の結果を分析したうえでダイヤ改正を行い利用拡大につなげる。</p> <p>②利用促進のための施策を検討。</p> <p>③山交バスにてR4 交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株式会社・ジェイアールバス東北株式会社</p> <p>【効果目標】 2社合算での増収</p>	<p>①運行会社同士でデータを基に運行ダイヤについて意見交換の実施。乗降調査で利用の少なかった仙台6:30発の便を7:10発に変更し、乗車率の改善を図った。(R4.4月)</p> <p>②仙台圏のお客様の取り込みを目的とした新たなバック商品ができないか検討している。また、2次交通としての米沢市内の小野川温泉、白布温泉行き路線バスの再編を米沢市と検討中。</p> <p>③山交バスにて交通系ICカード導入。(R4.5月)</p> <p>山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 コロナ禍における県外移動自粛も緩やかになった事も相まり、増収となった。</p>	【今後の方向性】 企画乗車券などの新商品の開発に向けて取り組む。	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	43.79%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	14	特急 新庄(東根・作並) 仙台	新庄駅前	東根 作並	仙台駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①ダイヤ、路線の見直しを行い乗車効率及び利用者の利便性を上げていく。</p> <p>②利用促進のための施策を検討。</p> <p>③新たな取り組みの開発</p> <p>④R4 交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株式会社</p> <p>【効果目標】 定期券増収率2.0%増</p>	<p>①東北中央道の開通による将来的な路線再編及び乗降調査に基づいた新ダイヤを検討中。</p> <p>②仙台圏のお客様の取り込みを目的とした新たなバック商品ができないか社内で検討している。</p> <p>③王将果樹園に新規事業としてさくらんぼの貨客混載ができないか提案を行った。</p> <p>④交通系ICカード導入。(R4.5月)</p> <p>山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 定期券収入前年比 108.6% 目標達成となった。</p>	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	61.55%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	15	県立病院～金山	県立病院前	泉田	金山	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①路線再編の検討</p> <p>②沿線沿いの学校に通う学生の利用促進。</p> <p>③R4.交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス株・新庄市・金山町</p> <p>【効果目標】 増収率3.0%増</p>	<p>①R5.10月の県立病院移転に伴う路線再編を山形県主催で最上地域別分科会を定期的に開催して継続協議中。</p> <p>②新庄市と通学定期券補助制度を継続して実施した。</p> <p>通学の利便増進に向けたダイヤ作成のため、沿線市町村や運行営業所と利用状況、利用属性、利用ニーズについての情報交換を行った。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)</p> <p>山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 179.3% 目標達成となった。</p>	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	8,270,177	▲ 323,966	27.67%	50.07%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	株式会社 新庄輸送サービス
------	---------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	16	県立病院～肘折線	県立病院	清水	肘折温泉待合所	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①貨客混載：スーパー等と連携した買い物代行サービスについて検討。(平成30年3月まで)</p> <p>②路線再編：新幹線到着時間に合わせたダイヤ改正(増便 6⇒7便へ)(平成30年3月まで)</p> <p>③混乗化：本路線に対する村営スクールバスの接続改善(平成30年3月まで)</p> <p>④観光利用促進：日帰り温泉パック等の商品開発(平成30年3月まで)</p> <p>【実施主体】 株式会社 新庄輸送サービス (大蔵村)</p>	<p>【取組実績】</p> <p>①平成30年5月より実証実験実施したが商業ベースに至らず、但し需要あり輸送支援で継続中。R4年度(64件/年、5件/月)</p> <p>②平成29年4月より実施済み。</p> <p>③平成30年4月より実施済み。本幹線に接続する支線のダイヤを改正。</p> <p>④平成30年4月より肘折温泉-新庄間の往復券(8%引き)を作成し販売好調継続。R4年度(1414枚、売上1,555千円)</p> <p>【取組効果】 ②③④の取組継続今年度は、新型コロナ福利利用者数、運賃収入、輸送量共に増となる。</p>	【今後の方向性】 地元利用者(通学・通学等)への増進アピールとコロナ禍裏つつある観光客の乗合需要の掘り起こしを行う。	1,002千円 (15.3%)	2,177千円 (5.6%)	17.07%	18.63%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 有限会社はながさバス

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	17	銀山線	銀山温泉	尾花沢市内	大石田駅	【取組内容及び実施時期】 観光利用促進:①主に首都圏からの観光客の増加を目的としたPR活動(R4年度中) 【実施主体】 有限会社はながさバス	【取組実績】 車内に銀山温泉のポストカードを配置し、バスを利用した観光客を対象に配布を検討。レイアウトや予算を検討中。 【取組効果】 R4年度中の実施が出来なかったため、R5年度へ持ち越し。	【今後の方向性】 乗車混雑緩和の為に、キャンセル化等検討必要。	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	66.65%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 山交バス株式会社・庄内交通株式会社

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R4年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R4年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	18	高遠 山形(月山) 鶴岡	山交ビル	月山	エスモールバスターミナル	【取組内容及び実施時期】 ①観光利用のお客様の利便性を高める。 ②新たな取り組みの開発。 ③R4 交通系ICカード導入予定。利用者への周知と普及活動を行う。 【実施主体】 山交バス株式会社・庄内交通株式会社 【効果目標】 2社合算での増収	①湯殿山を観光目的とするお客様のために、季節限定で湯殿山口バス停を経由する運行経路とした。 ②新規のお客様の取り込みを目的とした新たなバック商品がでないか検討している。 ③交通系ICカード導入。(R4.5月)山形県と協力し販促チラシ、ご利用ガイドを作成したうえで、関係各所へPR活動を行い普及拡大を図った。 【取組効果】 コロナ禍における移動自粛も緩やかになった事も相まり、増収となった。	【今後の方向性】 交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	R4年度より補助対象	49.70%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

